

答 申 書

令和 3年 1月 28日

土岐市長 加藤 淳司 様

瑞浪市長 水野 光二 様

土岐市及び瑞浪市医療提供体制審議会

会長

林 上

医療提供体制の安定確保について（答申）

令和2年11月9日付け土政第1874号及び瑞健第296号で諮問された病院再編統合の一病院化に伴う新病院の建設地については、示された建設候補地（土岐市肥田町地内）を最適な候補地として異論はありません。

〔付帯事項〕

審議会で実施した意見募集において提出された意見を十分に精査し、対応すること

<いただいたご意見>

1

公表されている建設候補地について

○災害時における搬送経路の確保のため、示された接続道路だけでなく他の接続道路も必要ではないか。

○建設候補地の地盤が不安なので、地盤改良が必要ではないか。

○工事に際し、土砂災害や水災害など発生しないよう十分な安全対策を講じてほしい。

<主なご意見>

- ・ 新病院建設に関わる開発工事で、絶対に、「土砂災害」・「水災害」を起こさないように、林地開発基準以上の安全面の対策を講じてください。また、最終決定したら、関係地域住民に、丁寧な・納得いく説明会を開催してください。
- ・ 南北の道路を設ける予定となっているが、土砂災害による通行止めが生じる場合があるため、東西の道路も設ける必要があると考えている。病院を設けるよりも新規道路を設ける方に費用が大きくなることに不安が生じる。
- ・ 本計画地の地盤は粘土質であり、建築物を設ける地盤としては、最低であると考えられる。駐車場・病院・道路などを設けるためには広大な地盤改良が必要である。
- ・ 災害などの時の事を考えると2系統の接続道路が望ましいと思います。
- ・ 病院建設工事が起因して老朽化した送水管の事故が増えることが心配されます。複数系統での給水が望ましいです。
- ・ 区域の南東方向には勾配が急で高さのある崖があります。埋戻しについては地質調査と軟弱地盤対策、崖については整形手法等が、課題となるかもしれません。

<いただいたご意見>

2

建設候補地へのアクセスや利便性について

- 病院が移転することで、通院にかかるタクシー代など個人の経済的な負担が増える。
- 病院が遠くなると、車のない高齢者などは通院が困難になる。
- 病院へアクセスにおいて、バスなど交通手段を確保してほしい。

<主なご意見>

- ・ 距離が遠くなる事で生じる個人の経済的負担が大きくなる。
- ・ 高齢者の負担(買い物弱者ならぬ通院弱者のタクシー代、免許を返上した位のお年寄りだけの家族はどうするのだろう。病院に行かなくなる、行けなくなることをどう考えるか。)をどう考えるのか。
- ・ 救急車を呼ぶような状況下において、現在の瑞浪のロケーションは最高です。多くの人が努力を積み重ねてきた東濃厚生と消防署のロケーションです。これが毎度肥田まで行く事は過去の努力を全て無駄にし、さらに全市民のリスクが高くなります。
- ・ もう少し具体的な移転のメリットを公開していただきたい。
- ・ 将来土岐と瑞浪に住みたい、住んでいて良かったと言う事を感じて貰える場所は?と考えると、どちらかの町の駅と接続した施設が望ましいのではとも考えます。
- ・ 土岐市肥田町となった場合の、免許証返納者への優遇処置を、瑞浪市は考えているのか?
- ・ 瑞浪市民の通院手段、高齢者等の四肢不自由者の通院手段はどうやって行うのか?
- ・ 高齢者なので、遠くになって不便です。
- ・ 高齢化が進むなかで今より総合病院が遠くなることは、車に乗れない老人にとっては大問題だと思います。
- ・ 高齢化の時代、やはり市内から大きな病院がなくなるのは、非常に不安かと思えます。
- ・ 高齢者になれば自家用車で通院が難しくなると想像します。
- ・ 土岐市は県立多治見病院に比較的近く、重傷者への対応もスピード感をもって可能ですが、瑞浪市民にとって候補地が土岐市となることは、現東濃厚生病院と比し、利便性、緊急性に著しく欠けることが言うまでもありません。
- ・ 意外にも候補地が当初の想定(両市の中間地点=私的には市境付近と受け止めていた)よりかなり土岐市寄りとなったため、本市にとっては通院にかかる距離的、時間的負担が思ったより増します。
- ・ 車のない交通弱者にとってはそれ以上に負担が深刻な事態であること。
- ・ 頼りにしていた総合病院が(大部分の市民にとっては)突然今より遠くに行ってしまうというのは酷ではないでしょうか。
- ・ 病院が遠くなってしまう住民に対して、通院を補助する公的なサービスは提案しないのでしょうか。
- ・ 自らの家族だけでなく就業中の社員を守る意味においても、市内に総合病院が無くなり、遠くなることには相応の理由がないと賛同出来かねます。
- ・ 市内に救急指定の病院が無くなれば、陶から40分くらいの時間がかかるのではないかと思います。これで市民の人命は守れるのかと思います。
- ・ 恵南地方からしたら東濃厚生が一番近い大病院。それでも遠いがさらに遠くなってしまうのが残念です。
- ・ 土岐に移転すると倍以上になり経済的負担と通院時間が長くなる不安が大きいと不安になっています。こういった遠方者に対する配慮はあるのかが気になります。
- ・ 土岐市に移転してしまうと自動車がないと通院しづらくなり、特に高齢者等、困る人が多くいると思います。
- ・ 近隣店舗としては、利用者減少が心配されます。
- ・ 近くに支店があるため、新しい建設地に移動した時、お客様に少しご迷惑になるかと心配である。
- ・ 瑞浪市は広域にわたりますので、病院が肥田町に移転した場合、利便性、緊急性がかなり低下すると思われます。
- ・ 駅からも便利な状況で何とか現状のままでもいい。
- ・ 候補地周辺の道路アクセスを見ると、疑問です。自家用にしる、バスにしる、今できていることができなくなるのでは、移転に納得できません。
- ・ 利用者の自宅近くまで送迎して頂ける病院バスの運行を希望致します。
- ・ バス等の交通の便が良い方はいいと思う。待ち時間の無いように。
- ・ 病院が遠方になることによって、便利な交通手段を検討する必要がある。また、利用者の負担軽減も考慮する必要がある。
- ・ 周辺道路状況に於いて道路の新設計画がありますが、本計画に合わせてバス路線の設定はありますでしょうか。駄知旭ヶ丘地区より土岐口東山交差点を經由して病院への路線を是非設定頂き、陶史の森入口(陶史台入口)にバス停をお願いしたい。

<いただいたご意見>

3

建設候補地が選定された経緯

○これまで検討されてきた候補地から、なぜ公表された候補地が変わったのか。

○瑞浪市から候補地が提案されなかったのはなぜか。

<主なご意見>

- ・ 双方病院を統合した場合の中間地点は、瑞浪市の山田町から土岐市の駄知町の市境付近とはならないのか？
- ・ 新しい候補地が1ヶ所のみを理由を知りたい。
- ・ 市民の声を十分にとりいれた候補地が選定されたかとても不自然である。
- ・ なぜ公式の検討会での審議結果が覆って全く別の候補地になったのか、理由を説明すべきだと考えます。
- ・ 統合するするのであれば、瑞浪市又は極力瑞浪市に近い場所での選定を希望しますが、拙速な候補地選定を避け、十分に時間をかけ検討して頂きたいです。
- ・ 策を尽くした上での「候補地なし」なのであれば、その経緯を説明をすれば、今後瑞浪市民の理解を深められると思います。
- ・ 決定の1年後に、候補地は、前から上がっていた4案のどれでもないものになっています(20201109 第1回審議会)。それが自然に通ってしまうのはなぜでしょうか。
- ・ 瑞浪市が、総合病院が市内からなくなることから想定される市民生活への影響や経済活動への影響を考え、しっかりと調査・予測・試算した上でのごことであれば、その経緯を知りたい市民の方も多々と思います。
- ・ もっと瑞浪のどこかで探すことはできないのでしょうか。
- ・ 厚生病院の場所に増設は無理、としています。例えば瑞浪駅周辺再開発事業計画にも入っている総合文化センターの跡地(となるであろう土地)を使うこと等は難しいのでしょうか。
- ・ 瑞浪市内に候補地が無いようですがなぜでしょうか。
- ・ 建設候補地について、瑞浪市側からの提案が無かったということですが、現在の東濃厚生病院の場所ではいけないのでしょうか。
- ・ 土岐市と瑞浪市だけでなく、多治見市や山岡町、明智町を含む広域を見て、候補地を検討する必要があるのではないのでしょうか。
- ・ 交通弱者でも利用できる立地場所を考えて頂いたと思います。
- ・ 瑞浪市候補の土地が無かったというのも信じがたい話です。市の所有地以外でも田畑を譲ってもらう為の交渉等を何件行ったのか、最善を尽くしたのかの経緯を知りたいです。

<いただいたご意見>

4

市民への周知

- 2 病院の統合について、瑞浪市民に十分周知がなされていない。
- 市民に発信するだけでなく、しっかりとした状況説明と意見交換をしてほしい。

<主なご意見>

- ・私の周りで、新病院建設や厚生病院の今後のことなどの話題が少ないように思います。
- ・今後とも様々な方法により市民への説明と意見聴取を十分に行いながら、市民が安心できる医療提供体制の確保政策を推進してほしい。
- ・少なくとも市民に方向性を伝え、しっかりと状況説明と意見交換を行った上で進めてはいかがでしょうか。市民に発信した、だけではなく、その内容が理解され疑問点がある程度払しょくされたことを確認するまでを行って初めて、「きちんと伝えた」ことになるのではないかと思います。
- ・今回は、建設予定地についての意見ということで募集がありました。建設地云々以前に、市民への説明責任が果たせていない、そしてこのような市民の生活に直結する重大事項にもかかわらず市民の声を聞くことが出来ていない状態で外堀が固められているように感じました。
- ・会議の結論ありきで進めるのではなく、一旦立ち止まって、動きを止めて、時間をかけて、しっかり市民に向き合って市民の考えに傾聴し、理解を得た上で進めていくべきものと思います。
- ・病院統合について、瑞浪市民にしっかり周知されているのか。
- ・もう少し地域住民の意見をしっかり聞く選択は必要だと思います。将来への希望も市民に伝え納得のできる説明をして頂けないでしょうか。
- ・両市病院の合併は必要なことかもしれませんが、少なくとも市民の声を聞いてから判断すべき事案だと思います。
- ・建設候補地を決める前に、まずは瑞浪市から大きな病院がなくなることを、多くの市民に知らせるべきではないでしょうか。

<いただいたご意見>

5

審議会における審議の進め方について

○新病院の建設候補地の審議のみに終始していることに疑問がある。

○市民の意見を反映した、建設的な意見交換ができる場となることを期待している。

<主なご意見>

- ・ 審議会の所掌事務に「医療提供体制の安定確保に関する事項」とあるにも関わらず、新病院の建設候補地の審議のみに終始しており、委員からも審議会の役割について疑問と不満が出された。審議会の今後の審議予定事項について市民にも説明してほしい。
- ・ 指定管理期間中の総合病院と東濃厚生病院の充実と必要な機能分担を図ることが当地域の住民の命と健康を守るうえで喫緊の課題であることから、この点についても審議会に諮ることを含め早急に検討・実施してほしい。
- ・ このパブリックコメントは、真摯に民意を問うものではないと判断します。
- ・ 新型コロナの流行が終息するまで、「審議会」の議論を停止することを提案します。
- ・ 土岐市と瑞浪市の温度差を歴然と感ずる中、恐らく瑞浪市民の大半が置き去りにされている今回の件に関して、引き続ききちんと市民の意見を反映した声を伝えていくことが肝要と思います。
- ・ 2020年11月以前の会議での決定事項は、全て、市民(少なくとも瑞浪市民)の意見がほぼ反映されずに決められた内容です。そして、ようやく意見募集がされたと思ったら、「土岐市のここが候補地ですが、どう思いますか？」なのです。これでよいのかは、シンプルに、疑問です。
- ・ 第3回審議会以降は、きちんと民意を反映し、建設的な意見交換ができる場となることを期待します。決定事項について再考することもある程度必要ではないかと思います。会議に市民を参加させることや、民意を吸い上げる別の形の委員会等を設けることなども有効なのではないでしょうか。
- ・ 結論を行政執行で「市民の声」を、「パブリックコメント」方式で執行した形式だけで進行推進していくことに対し、疑義を感じます。
- ・ 「審議会」という「名」を冠して推進する独善的な方式を改め、「審議会」の行動規範をどのようにして行おうとしているのか全市民に周知できる措置を示し、経過・結果についてだれでも気軽に確認できる「公開の原則」による審議がなされなければならないと思います。
- ・ 新型コロナウイルスで緊急事態宣言が出るほどの事態の中ですら進めなければならないほど、急いで決めなければならないことでしょうか？
- ・ 「建設地」のみを問うようなやり方では、「土岐市に病院もとられるだけ」という残念な印象しかありません。

<いただいたご意見>

6

一 病院化の再検討

○なぜ、土岐市立総合病院と東濃厚生病院を統合する必要があるのか。

<主なご意見>

- ・ 東濃厚生病院が無くなることには反対が強いこと、病院統合及び病床削減ありきの方針の再検討が必要であること、十分な医療提供体制の検討・具体化をふまえた「新病院」の基本構想を策定する必要があること、「一病院化」による医療従事者の確保についても保障がないことなどから「一病院化」の再検討が必要である。
- ・ 東濃厚生病院を廃止する一病院化には反対です。
- ・ なぜ、土岐市の経営力不足の土岐総合病院と瑞浪市の東濃厚生病院を統合しないといけないのか？
- ・ 統一病院ができた場合、その時発生する諸問題を今から提起し、解決方法をできてから考えるのではなく今から考えてほしいです。行くのに便利で統一病院がメリットのあることを瑞浪市民として望みます。
- ・ 一病院化を進めるか否かの段階で、メリットとデメリットを明らかにしたうえで市民に対して周知を図り、それからパブリックコメントを募集するところからスタートすべきと考えます。
- ・ 土岐市は「病院を残す！」という意味が明確ですが、瑞浪市はそこまでの議論はされておりません。これまでのことは白紙に戻し、市民を交えて検証委員会を立ち上げ、これまでのこと、そしてこれからのことをじっくり議論することが必要です。
- ・ 東濃地域の医療体制を一院化し、新病院を建設するに至る過程は、市民の真の声にこたえない結論を出したものに過ぎない。
- ・ 土岐市は高い高齢化率にありますが、今後の「医療病床」がどうなるのか身近な重大問題です。市民的議論を経ずに、病院の一元・新病院の設置場所などを進めるのは物事の順序が逆ではないでしょうか。
- ・ コロナがひどくて、今、病院が足りない時に場所が変わり、一つになってしまうのは本当に困ります。
- ・ 医療を受ける側の立場に立って計画を練り直してください。
- ・ 2病院を1病院に再編するという病床整理が本当に正しい道なのか。この病床整理は本当に必要なのでしょうか？再検討を望みます。
- ・ 瑞浪市民のほとんど知らない間に瑞浪市・土岐市の一部職員と厚生連とで決まっていってしまうことは大きな問題です。
- ・ 統廃合の必要性、住民が受けるメリット・デメリットなど自分の暮らしがどう変化するかを丁寧に、しっかりと説明をする機会を創出していただきたい。

<いただいたご意見>

7

東濃厚生病院の存続

○必要な診療科が受診できる総合病院として、東濃厚生病院を残してほしい。

<主なご意見>

- ・ 瑞浪市民の多数は東濃厚生病院を総合病院として存続してほしいと願っています。
- ・ 釜戸町、陶町、日吉町は1次病院が脆弱であり、東濃厚生病院がその役割もはたしています。1か所で必要な科を受診できる総合病院としての東濃厚生病院を残してほしいというのは多くの市民の声です。
- ・ 残っていただくためにはどんな条件が必要かなどの話し合いなど、打開策を模索する必要があると考えます。
- ・ 市民の大切な「命」を守る拠点であり、市として守っていくべきだと考えるためです。
- ・ 市内に核となる病院が消えることについての影響は今後の市内の経済的にも大きな事業であると考えます。
- ・ 昭和病院から東濃厚生病院へと建て替えられて、まだ10数年(20年未満)です。この病院を継続使用が可能で、壊したりすることはもったいないです。
- ・ 後世に負担を残すほどの必要性があるとは思えず、現在ある施設を活用すべきと考えます。
- ・ 新しい施設に投資するより、今ある施設、設備を残し、有効活用してはいかがでしょうか。経営の統合は仕方がないにせよ、税金が減り、健康に暮らすための病院が遠くなるのでは、瑞浪市には分が悪すぎる。
- ・ 現在ある東濃厚生病院と移転が決まっている中央公民館の場所を利用すればより早く、土岐市民としても駅から近い場所としてより利用がしやすいのではないかと思います。

<いただいたご意見>

8

東濃厚生病院の跡地利用

○東濃厚生病院の跡地利用について、市民へ情報提供してほしい。

<主なご意見>

- ・今のところ跡地利用に関する情報は市民には何も無い。と言うか無いように思えてしまう。
- ・現在の東濃厚生病院の建物はどこかに売却されるのでしょうか。もしそうであればどこかの病院に売却するという方法は考えられていないのでしょうか。またテナントではないですが多くの個人病院をその中に入れるという方法はどうか。
- ・人口増加や住みやすい街づくりにつながるような跡地利用は考えないのでしょうか。
- ・跡地の利用もしっかり考えてほしい。

<いただいたご意見>

9

市のまちづくり

○ 駅周辺部再開発、総合文化センターや図書館の移設等と絡めて病院移転を考えてほしい。

○ 病院移転に伴い、病院周辺の買い物客が減少し、消費が減少することが懸念される。

<主なご意見>

- ・ 駅周辺部の再開発や総合文化センター・図書館の移設等々は、病院のことと絡めて考えることが、瑞浪市の魅力あるまちづくりに不可欠であると思います。
- ・ 昼食、夕食、お見舞い品、入院備品等々の買物、給油は確実に減少します。東濃厚生で働く人、出入り業者の消費は無くなるし、間違いなく瑞浪市から土岐市への転居は増えます。瑞浪市への税収も無くなります。
- ・ 直接的には、病院に今勤めている人、今後勤める人が確実に減少します。病院と取引があるところも同様。間接的には、総合病院のない街に誰が住むのか。(瑞浪市)
- ・ 通院の途中でのお買い物等の交流人口による消費が瑞浪市内へも恩恵をもたらしています。総合病院も無いような瑞浪市に誰が引越してくるでしょうか。
- ・ 現代社会の医療というこれからの時代より長く付き合いなくてはいけない分野におけるその施設の場所は、現在進んでいる予定地では経済効果が生み出しにくいと思います。
- ・ 病院が移転された場合の瑞浪市におけるリスクマネジメントがどのようか？東濃厚生病院は650人/日(20万人/年)の方々が利用される。土岐市民病院においても約20万人/年の利用者が存在することでしょう。この利用者(交流人口)を失うことによって、瑞浪市・土岐市の財政にどのくらいのリスクが存在するかを検討された資料も添付すべきである。
- ・ 瑞浪市民にとって不便になるだけでなく魅力のない町になります。人口の減少はますます加速し、経済的損失も過大になることと思います。

<いただいたご意見>

10

新型コロナ感染症対策に関連して

○コロナ禍で病床が逼迫している中で、病床の削減が行われることは心配です。

<主なご意見>

- ・新型コロナウイルスで緊急事態宣言が出るほどの事態の中ですら進めなければならないほど、急いで決めなければならないことでしょうか。終息するまで待つからでも遅くはないのではないのでしょうか。
- ・新型コロナウイルス感染拡大により医療の在り方も変わるかもしれません。
- ・コロナ禍で病床がひっ迫している中で、さらに病床が減ってしまうのが心配です。
- ・コロナ禍で地域医療構想は破綻下としか思えません。今こそ医療を受ける側の立場に立って計画を練り直してください。
- ・コロナ禍で日本の医療に対する考え方を新しく変えていかねばならないというこのときに2病院を1病院に再編するという病床整理が本当に正しい道なのか。もう一度立ちどまって考えることも必要なのではないか。
- ・現在のコロナウイルス禍では公立や公的な総合病院でしか診療等の対応がされていないといいます。今ある建物でこの危機に対応することが瑞浪市民にとって有効な方法と考えます。